

令和 7 年度第 2 回神岡地域協議会会議録

令和 7 年 10 月 8 日

神岡地域協議会

令和7年度第2回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名について	3
■案件	
①大仙市行政サービス改革・DX推進大綱について	3
②地域枠予算活用事業について	4
■その他	5
■閉会	6
■署名	6

令和7年度 第2回神岡地域協議会 会議録

■日 時：令和7年10月8日（水） 午後2時

■会 場：神岡市民センター 3階 大会議室

■出席委員：8名

岸 てい子、工藤容子、今 美佳、佐々木 琢、
佐々木 宮廣、佐藤和彦、高橋 保、宮原早苗

■欠席委員：5名

太田 久美子、小松 雅志、鈴木 美保、高橋 昇、
藤井 健

■出席職員：6名

鈴木 正人（神岡支所長）
齊藤 義則（市民サービス課長）
佐々木 裕子（農林建設課長）
大野 曜佳（神岡中央公民館長）
須田 芳恵（地域活性化推進室 主幹）
黒川 梨々花（地域活性化推進室 主事）
小松 久喜（DX推進課 課長）
長谷川 祐城（DX推進課 主幹）
今 曜（DX推進課 主幹）

■次 第：

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 案件
 - ①大仙市行政サービス改革・DX推進大綱について
 - ②地域枠予算活用事業について
- 5 その他
- 6 閉会

(午後 2 時 開会)

○事務局

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただ今から、令和 7 年度第 2 回神岡地域協議会を開催いたします。

はじめに、佐藤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○神岡地域協議会 佐藤会長（以下「会長」と表記）

皆様お疲れ様です。第 1 回目からだいぶ時間が経ってしまいましたが、今回第 2 回目の開催となります。暑い季節から涼しい季節へと変わり、秋の行楽シーズンではありますが、熊の出没の問題なども他人ごとではないように感じています。皆様の中でも散歩などされる方も多いと思いますが、山などに限らず本当に注意しなければならない状況になっております。

また、秋のいろいろな行事があり、職員の方にはご難儀をかけておりますが、委員の皆さんも市の行事には積極的にご参加いただければと思います。

それでは議事を進めて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局

ありがとうございました。続きまして、鈴木支所長よりご挨拶を申し上げます。

○鈴木支所長（以下「支所長」と表記）

本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、日頃より、地域の課題解決並びに地域の活性化の為に御尽力を賜りまして、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

最近の地域の話題として一番にあげられるのは、おそらく米のことだと思います。稲刈りもだいぶ進みまして、農家の元気な声も届いております。米の値段も仮渡金で 2 万 8 千円くらい、一部報道では 3 万円になるのではないかという話もあります。それを大体、1 反当り 9 倍くらいで換算しますと、18 億 5 千万円くらいになるそうです。一昨年約 1 万円での仮渡金だとすると約 3 倍になっておりますので、本当に地域が活性化するのではないかと非常に期待している所です。今朝新聞でも、農家の農機具の買換えが増えているというような報道もされていますし、地域の中でも買い物や宴会を行って活性化していただき、ぜひ神岡地域が元気になることを期待している所であります。

それから、神岡地域で行われた行事についてですが、9月 14・15 日の八幡神社の祭典とそれに合わせて行われた神岡南外花火大会、この花火大会も連休に重なったこともあり、非常に多くの方々がお見えになりました。神岡の花火は素晴らしいと改めていろいろな方に言っていただきました。また、9月 20 日からは全国 500 歳野球大会が開催され、約 4 千人の方々に神岡を訪れていただきました。また、昨日 10 月 7 日ですが、大仙市・仙北市・美郷町が持ち回りで行っている総合防災訓練が神岡農村環境改善センターを中心に行われました。昨晚の NHK ニュースこまちでも訓練の様子が放映されましたので、ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、滞りなく無事に終了いたしました。災害は忘れた頃にやって来ると言いますが、最近は忘れる前にやってくというような感覚に変わって来ているようです。皆さんもいつ災害が起きても大丈夫なくらいの心掛けが大事だと思いますので、地域の方々にもお伝えいただきたいと思っております。また、先ほど会長からも話があつた通り、熊による人身被害が発生しておりますが、その対応として、市街地でも熊を銃で撃つことができるよう

法律改正がされましたので、その訓練として10月15日にこちらも神岡農村環境改善センター付近で市街地出没訓練を行う予定となっております。それから10月18・19日の土日は秋の穏りフェアが開催されます。先ほど申し上げました通り、農家が元気になっている所ですので、大仙市全体が元気になってくれればと思っております。また10月25日は神岡地域文化祭が開催されます。地域文化祭の中では地域枠を利用した市民協働型の子ども向けイベントも予定しておりますので、こちらのほうにも是非お立ち寄りください。本日は、通常の地域枠予算の報告の他に本庁のDX推進課から大仙市行政サービス改革・DX推進大綱についての説明と皆さんのご意見を伺いに来ておりますので、皆様には忌憚のないご意見をもらいながらご審議いただきたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、案件についての協議を進めさせていただきます。

本日、太田久美子委員、小松雅志委員、鈴木美保委員、高橋昇委員、藤井健委員より欠席の届け出がされておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立することをご報告申し上げます。

次に、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、岸てい子委員と工藤容子委員にお願いいたします。

それでは案件1の「大仙市行政サービス改革・DX推進大綱」について、DX推進課より説明をお願いします。

○DX推進課（長谷川主幹）

【大仙市行政サービス改革・DX推進大綱について資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今の説明に対しまして、委員の皆さんから質問やご意見等はございませんでしょうか。

○宮原早苗委員

DX推進大綱について、最近気になっていたのが、国勢調査員の方が一軒一軒お宅を訪問したり、何度も訪問が必要だったりと大変苦労をされている様子が気の毒なのですが、こういったものもデジタル化されるのでしょうか。

○DX推進課（小松課長）

国勢調査については、総合政策課が現在所管して行っており、回答自体はスマホができる点などはデジタル化しておりますが、調査員が訪問して趣旨を説明して、直接資料や調査票をお渡しするという点はまだアナログになっております。今後、完全にデジタル化されるかというと、総務省のほうでも今後検討していくことは思います。デジタル化は昔に比べるとたいぶ進んでおりますが、マンパワーと回答の簡単さが両立する方向性が求められると思います。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。

○工藤容子委員

この意見書には、例えはどういったことを書けば良いのでしょうか。

○DX推進課（小松課長）

忌憚なく、幅広く将来のことを考えてご意見いただければと思いますが、他の協議会等では、なるべく分かりにくい横文字や専門用語を使わないようにして欲しいなどのご意見をいただき、対応して参ります。他にはデジタル化だけではなく、従来の市役所業務を維持してほしいという意見や、スマホ等が苦手な人が取り残されないようにという意見をいただいております。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。

○宮原早苗委員

今のお話の続きになりますが、スーパーに買い物に行くとゆっくりレジというのがあるよう、市役所でもデジタルに対応できない方専用の窓口を設けていただけるとありがたいと思います。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。

(質問・意見なし)

ないようですので、「大仙市行政サービス改革・DX推進大綱」については、以上といたします。

DX推進課の方は、ここで退席となります。ありがとうございました。

続きまして、案件2番の「地域枠予算活用事業」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

【資料に基づき説明】

市民協働型

・八石部落会環境整備事業

事業の目的：八石地内にある「八石疱瘡地蔵尊」に至る階段と踊り場の土の崩落の補修作業を行い、環境を整備することにより、地域づくり活動や伝統文化の継承に資する。

申請者：八石部落会

申請額：196,900円

決算額：196,900円

- ・みんなであそぼうなないろらんど

事業の目的：「かみおか地域文化祭」の開催に合わせ、子ども向けイベントを開催することにより地域の賑わいを創出するとともに、地域全体で子育てを応援する機運の醸成を図る。

申請者：シユピールきっず

申請額：180,000円

市民主導型

- ・神岡地区東部親の会納涼祭

事業の目的：神岡地区東部に居住する児童や家族の世代を超えた交流を図りつつ愛郷心を育み、継続的に行うことにより地域を未来に繋げていくことを目的とする。

申請者：神岡地区東部親の会納涼祭実行委員会

申請額：68,000円

実績額：68,000円

- ・北檜岡地区納涼祭

事業の目的：年に一度、地域住民の交流の場として、老若男女、子どもたちが一堂に集まり納涼祭を実施することで、さらなる親睦・交流を図る。

申請者：北檜岡三町内会

申請額：73,000円

実績額：73,000円

○会長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明に対しまして、委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんか。

(質問・意見なし)

ないようですので、次第の5. その他に入ります。

事務局からお願いします。

○事務局

【西部地域協議会合同研修会・交流会について資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明に対しまして、委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんか。

(質問・意見なし)

○支所長

ただ今、説明のありました西部地域協議会合同研修会及び交流会につきましては、東部地域では以前より市長を招いて合同で行っており、情報交換と交流の場となっているようです。

西部としては初めての合同研修・交流会の開催となりますので、ご都合がつく方は是非ご参加いただきたくお願ひいたします。

○会長

支所長のお話にもありました通り、合同研修会・交流会は貴重な機会ですし、来年は神岡が当番になるようですので、委員の方々はなるべく都合をつけて参加いただければと思います。それと10/25の「なないろらんど」には、地域協議会委員のサポートは必要ですか。

○事務局

今回の「みんなであそぼうなないろらんど」は、シュピールきっずという団体との市民協働型事業になります。シュピールはドイツ語で遊ぶというような意味で、この団体はボードゲームの会を定期的に開催されている神岡の方や県内で子育て世代向けのマルシェを開催されている方が構成員となっております。当日はそちらの方々と支所職員がイベントスタッフを行う予定であります。地域協議会委員のみなさんには、かみおか地域文化祭と合わせて是非お立ち寄りいただければと思っております。

○会長

地域協議会の皆さんも遊びに行っていたければと思います。
他にご意見、ご質問等はございませんか。

(質問・意見なし)

それではこれをもちまして、令和7年度第2回の神岡地域協議会を閉じさせていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(午後2時42分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
